司祭不在のときの主日の集会祭儀（試用版）

－「晩の祈り」の形式（聖体拝領を行う場合）－

開祭

１　初め

会衆が集まると、各共同体で決めた方法によって式の始まりが知らされる。

一同は起立し、司会者とともに自らに十字架のしるしをする。

　司　✢ 神よ、わたしを力づけ、

一同　急いで助けに来てください。

　司　栄光は父と子と聖霊に、

一同　初めのように今もいつも世々に。アーメン。（アレルヤ。）

２　賛歌

典礼季節やその日の特徴を考慮して、ふさわしい賛歌を歌う。

３　招きのことば

司会者は、ふさわしい言葉で一同を招く。

詩編唱和

４　一同は着席し、詩編を唱える。先唱の「アレルヤ」は四旬節には省く。

　　歌う場合は『教会の祈り』の旋律（『典礼聖歌』364）を用いる。

 　第一唱和（詩編110・１－５、７）王であり祭司である救い主

　先　神は王しゃくを持つあなたをシオンから起こされた。アレルヤ。

　　　　　四旬節、復活節に

 先　主は勝利をおさめ、その力を現す。（アレルヤ。）

神はわたしの主に仰せになる。

「わたしの右にすわれ。はむかう者をおまえの足台とする。」

神は王しゃくを持つあなたをシオンから起こされた。

はむかう者の中で治めてください。

生まれた日からあなたには王の威厳が備わっている。

あなたは朝の露のように生まれ、光り輝く。

「メルキゼデクのように、おまえは永遠の祭司。」

これはゆるぎない神のことば。

神は、その右の手で

怒りの日、王たちを砕かれる。

主は諸国をさばき、勝利をおさめ、

遠く地の果てまで、力をもって君臨する。

主は沢の流れでかわきをいやし、

こうして、その力を現す。

栄光は父と子と聖霊に、

初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

第二唱和（詩編114）エジプトから解放されたイスラエル

　先　地は神の前におののけ。（アレルヤ。）

イスラエルがエジプトを出て

ヤコブの家がことばの違う民から離れた時、

ユダは神の聖地となり、

イスラエルは神の国土となった。

海はこれを見て退き、

ヨルダンはその流れをもどした。

山は雄羊のようにおどりあがり、

丘は小羊のように喜びおどった。

海よ、どうして退くのか。

ヨルダンよ、どうして流れをもどすのか。

山よ、どうして雄羊のようにおどりあがり、

丘よ、どうして小羊のように喜びおどるのか。

地は神の前に、ヤコブの神の前におののけ。

神は岩を流れに、石を泉に変えられた。

栄光は父と子と聖霊に、

初めのように今もいつも世々に。アーメン。

　　一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

 　第三唱和（黙示録19・１－７）小羊の婚宴

　先　神をほめたたえよう。（アレルヤ。）

勝利と栄光と力はわたしたちの神のもの、

神のさばきは真実で正しい。

神のすべてのしもべよ、わたしたちの神を賛美せよ。

神をおそれ敬う者はみな、神を賛美せよ。

主は万物を支配され、

わたしたちの神である主は王となられた。

わたしたちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。

小羊の婚宴の時が来て、花嫁のしたくはできた。

栄光は父と子と聖霊に、

初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

　　一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

四旬節には以下を唱える。

第三唱和（一ペトロ２・21b－24）神のしもべの受難

　先　キリストは、わたしたちのために苦しみを受け、模範を残された。

キリストは、わたしたちのために苦しみを受け、

あなたがたがその跡に従うよう模範を残された。

キリストは罪を犯したこともなく、

いつわりを口にされたこともない。

ののしられてもののしり返すことなく、

苦しめられてもおどすことなく、

正しくさばかれるかたに、

ご自身をゆだねられた。

わたしたちが罪に死んで正しく生きるため、

キリストは十字架の上で、

わたしたちの罪を身に負われた。

その傷によって、あなたがたもいやされた。

栄光は父と子と聖霊に、

初めのように、今もいつも世々に。アーメン。

　　一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

ことばの典礼

５　その日のミサのことばの典礼を続ける。

６　第一朗読

朗読者はミサと同じように聖書を朗読する。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

７　答唱詩編

一同は答唱詩編を歌うか唱える。

８　第二朗読

第一朗読と同じように行われる。朗読の後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わう。

９　アレルヤ唱（詠唱）

一同は起立し、アレルヤ唱（詠唱）を歌う。

10　福音朗読

通常は、助祭が朗読する。

助祭が不在で信徒の司会者が朗読する場合、朗読前の「主は皆さんとともに」は省く。

　助　主は皆さんとともに。

会衆　また司祭とともに。

　助　〇〇〇による福音。

会衆　主に栄光。

　　朗読の後、助祭または信徒の司会者は福音書を両手で掲げて唱える。

　助　キリストに賛美。

会衆　キリストに賛美。

11　説教（勧めのことば）

助祭が司式する場合は説教を行う。

信徒が司会する場合、司祭があらかじめ準備した説教を読み上げるか、司祭とともに準備した、福音朗読に基づ

くふさわしい勧めのことばを述べることができる。

説教（勧めのことば）の後、一同はしばらく沈黙のうちに黙想する。

12　信仰宣言

一同は起立して、以下のいずれかの信条を歌うか唱える。

ニケア・コンスタンチノープル信条

一同　わたしは信じます。唯一の神、全能の父、

天と地、見えるもの、見えないもの、すべてのものの造り主を。

わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。

主は神のひとり子、すべてに先立って父より生まれ、

神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、

造られることなく生まれ、父と一体。すべては主によって造られました。

主は、わたしたち人類のため、わたしたちの救いのために天からくだり、

以下、「人となられました」まで一同は礼をする。

聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、人となられました。

ポンティオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、

苦しみを受け、葬られ、

聖書にあるとおり三日目に復活し、天に昇り、父の右の座に着いておられます。

主は、生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。

その国は終わることがありません。

わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。

聖霊は、父と子から出て、父と子とともに礼拝され、栄光を受け、

また預言者をとおして語られました。

わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。

罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、

死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。

アーメン。

使徒信条

一同　天地の創造主、全能の父である神を信じます。

父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。

以下、「おとめマリアから生まれ」まで一同は礼をする。

主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、

ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、

十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、

三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父である神の右の座に着き、

生者と死者を裁くために来られます。

聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、

からだの復活、永遠のいのちを信じます。

アーメン。

13　共同祈願（信者の祈り）

司会者の招きに続いて、他の奉仕者が意向を唱える。

交わりの儀

14　共同祈願が終わると、司会者あるいは他の奉仕者は祭壇の準備をする。

15　主の祈り

司会者の招きに続いて、一同は主の祈りを唱える。

一同　天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおり地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

16　平和のあいさつ

適当であれば、司会者の招きに続いて、一同は手を合わせ、たとえば「主の平和」と言って互いに礼をすること

ができる。

17　拝領

司会者は、会衆に向かってはっきりとした声で唱える。

　司　神の小羊の食卓に招かれた者は幸い。

一同　主よ、あなたは神の子キリスト、永遠のいのちの糧、

あなたをおいてだれのところに行きましょう。

18　拝領が始まると拝領の歌を歌うことができる。

司会者（と聖体授与の臨時の奉仕者）は、ホスティアを取って拝領者一人ひとりに示して言う。

　司　キリストの御からだ。

拝領者　アーメン。

19　拝領後、ホスティアが残っている場合は定められた場所に納め、使用した祭器具などを片づけてから、一同は着席してしばらく沈黙のうちに祈る。

20　マリアの歌

続いて、一同は起立してマリアの歌を歌う。歌の初めに一同は十字架のしるしをする。

交唱　わたしは神をあがめ、神の救いに喜びおどる。（アレルヤ。）

✢ わたしは神をあがめ、

わたしの心は神の救いに喜びおどる。

神は卑しいはしためを顧みられ、

いつの代の人もわたしをしあわせな者と呼ぶ。

神はわたしに偉大なわざを行われた。

その名はとうとく、あわれみは代々、神をおそれ敬う人の上に。

神はその力を現し、

思いあがる者を打ち砕き、

権力をふるう者をその座からおろし、

見捨てられた人を高められる。

飢えに苦しむ人はよいもので満たされ、

おごり暮らす者はむなしくなって帰る。

神はいつくしみを忘れることなく、しもべイスラエルを助けられた。

わたしたちの祖先、アブラハムとその子孫に約束されたように。

栄光は父と子と聖霊に、

初めのように今もいつも世々に。アーメン。

交唱　わたしは神をあがめ、神の救いに喜びおどる。（アレルヤ。）

21　拝領祈願

　司　祈りましょう。

一同は司会者とともにしばらく沈黙のうちに祈る。

　司　・・・・・わたしたちの主イエス・キリストによって。

会衆　アーメン。

閉祭

22　お知らせ

必要に応じて会衆に対して短いお知らせが行われる。

23　祝福と派遣

　助　主は皆さんとともに。

会衆　また司祭とともに。

　助　全能の神、父と子と聖霊の祝福が ✢ 皆さんの上にありますように。

会衆　アーメン。

　助　行きましょう。主の平和のうちに。（アレルヤ。）

会衆　神に感謝。（アレルヤ。）

　信徒が司会する場合、会衆とともに十字架のしるしをしながら言う。

　司　✢ 全能の神がわたしたちを祝福し、

　　　すべての悪から守り、永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆　アーメン。

　司　賛美と感謝のうちに。

会衆　アーメン。

24　結びにふさわしい聖歌を歌うことができる。